

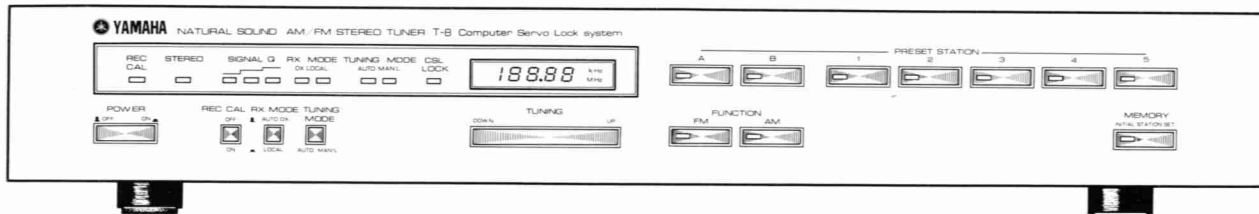


NATURAL SOUND

STEREO AM/FM STEREO TUNER

T-8

取扱説明書



このたびは、ヤマハ・ステレオチューナーT-8をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

T-8の優れた性能を十分に発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

■目次

特長	1
ご使用になる前に次のことにご注意ください	2
接続図/接続上のご注意	3
各部の名称と機能	5
プリセットメモリーおよび放送の受信の方法	7
ブロックダイアグラム	10
参考仕様	11
故障と思われるときには	12
サービスのご依頼について	13

■特長

●高性能FMチューナー部

サーボAGC回路付、高感度MOS-FET 使用のRF増幅段、4連バリコンに相当する高耐圧バラクターダイオード使用のフロントエンド。および、低損失ユニレゾナンスセラミックフィルターをDX側に5素子LOCAL側に2素子(全段位相歪補正回路付き)使用のAUTO DX回路+カレントリミッター付き6段差動増幅回路で構成される高選択度、超低歪率IF段。さらに、ウルトラリアダイレクト検波回路を備えたFMチューナー部は、優れた妨害排除特性と高感度、低歪率、高選択度を確保しています。

●FM MPX部(リアルタイムデコーダ)

C-MOS IC、専用ハイスピードOPアンプICを使用したFM MPX部は、トラッキング型パイロットピュアキャンセル回路と、アンチインターフェアレンスPLL システムにより、低歪率で透明度の高い再生音を得ています。

●AUTO DX回路(FM部)

IF段に妨害検出方式のAUTO DX回路を設け、さまざまな電波のクオリティを自動的に検出し(LLOCAL→DX自動切り換え)音質と選択度のバランスをコントロールしてRX MODE インジケーターで動作を表示します。

●高性能AMチューナー部

2連バリコンに相当する高耐圧、バラクターダイオード使用の非同調RFカスコード増幅段と、二重平衡型差動ミキサー回路、ダブルトリプル帯域切り換え付きIF増幅段、低歪率検波回路、などにより構成されるスーパー

ヘテロダイン方式のAMチューナー部は、電界性の雑音に強い低インピーダンスループアンテナと共に、AM放送を高感度高忠実度で安定に受信します。

●コントロール部

コンピューター・サーボロックド・ループ(C.S.L)方式による自動選局または、手動選局を切り換えるチューニングモード選択機能。

不揮発性メモリー使用の、AM-FM放送をランダムに10局までプリセットすることができるプリセットステーション機能。

さらに、電源スイッチをONにしたときに、メモリーされた局を即時受信状態とするイニシャルステーションセット機能。そして、メモリーボタンを押すと前回メモリーしたチャンネルのインジケーターが点滅動作を行なう、ラストメモリーチャンネルフラッシング動作など、多彩なコントロール機能を備えています。

●多彩な付属回路

7セグメントLEDによる周波数デジタル表示器、3点LEDシグナルクオリティインジケーター、それにオートブレイド回路や、REC CAL回路などの多彩な付属回路を内蔵しています。

●新感覚のデザインと操作性

優美な感覚と、優れた操作性を合わせ持ったパネルデザインは、優れた基本性能と共に、ヤマハのオーディオ機器の全てに一貫して求められているもので、T-8もまた例外ではありません。

ご使用になる前に次のことにご注意ください



設置場所について

次のような場所で長時間ご使用になりますと音質が悪化したり故障などの原因となります。ご注意ください。

- 窓際など直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)または、温度の特に低い場所(周囲温度-5℃以下)では製品の機能を維持できない場合がありますのでさけてください。
- 湿度の多い場所(湿度90%以上)では金属部品にサビが生じることがあります。
- ホコリの多い場所ではスイッチ等がよごれ、接触不良や雑音の発生等の原因になり性能をそこなうこととなります。
- 結露が発生した場合、一時的に正常動作をしないことがあります。
- その他、振動の多い場所や磁気の強い場所(テレビやモーター)の近くには置かないでください。雑音の発生等の原因となります。



水に濡れたら

万一雨が降ったり、花びんなどの水をセットにこぼしたときは、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。(この状態で電気を入れた場合、発煙などの原因になり性能をそこなうこととなりますのでご注意ください。)



ケースを開けない

トップカバーや底板を開けて内部に手などを入れますと、故障や感電事故を起こすことがあります。何か異物が入ったときには、すぐ電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。



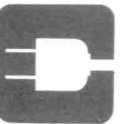
FMアンテナを

放送局から離れた場所や、ビルなどが多く受信状態が悪いときには、FM専用アンテナを建ててクリアなFM放送をお楽しみください。



落雷に対する注意

落雷のおそれのあるときには、早めにコンセントから電源プラグを抜きとってください。また、アンテナからのケーブルを端子からはずし、ケーブルには絶対さわらないようにしてください。



電源コードも大切

コードの断線やショートを防ぐため、電源プラグをコンセントから抜くときは、コードをひっぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。

※本機は国内仕様です。必ずAC100Vの電源コンセントにプラグを差し込んでお使いください。



セットの移動

セットを移動する場合には、接続コードのショートや断線を防ぐため必ず電源プラグを抜き、他の機器との接続コードを取りはずしてから動かしてください。



セットのお手入れには

セットをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布したりすることは避けてください。(変色等の原因となります。)お手入れには、必ず柔らかい布でからぶきするようにしてください。



予備電源コンセント

背面パネルのAC OUTLETの容量は、300Wとなっておりますので、300W以上の消費電力の機器を接続しますと電源コードやソケット類が発熱して危険ですから絶対に300W以上の機器は接続しないでください。



もう一度調べてください

故障かな?と思ったら、まず12ページの“故障と思われるときには”を見てください。意外なところで操作を誤っていることがあります。



保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きをおこなってください。保証書に販売店印がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、充分ご注意くださいようお願いいたします。



保管してください

この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

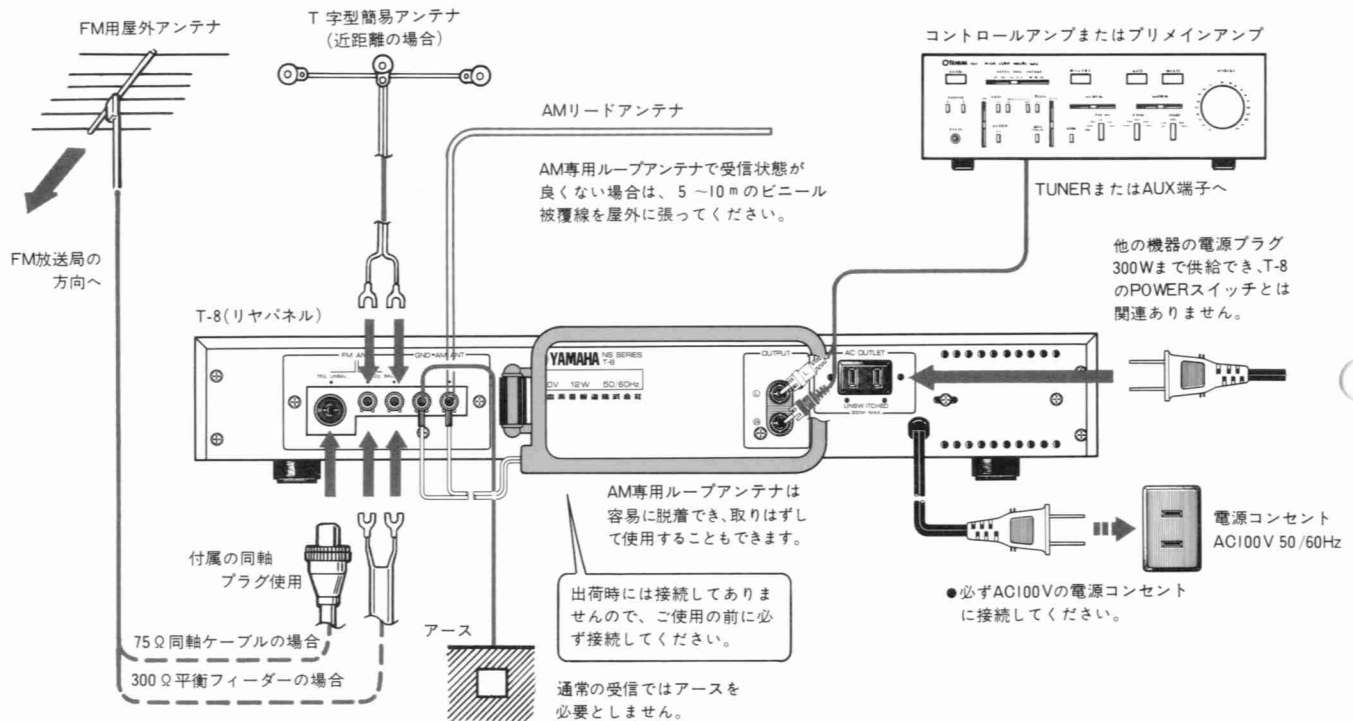
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

接続図/接続上のご注意

■接続図

※接続の際は、各機器の電源を切り、
右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して接続してください。

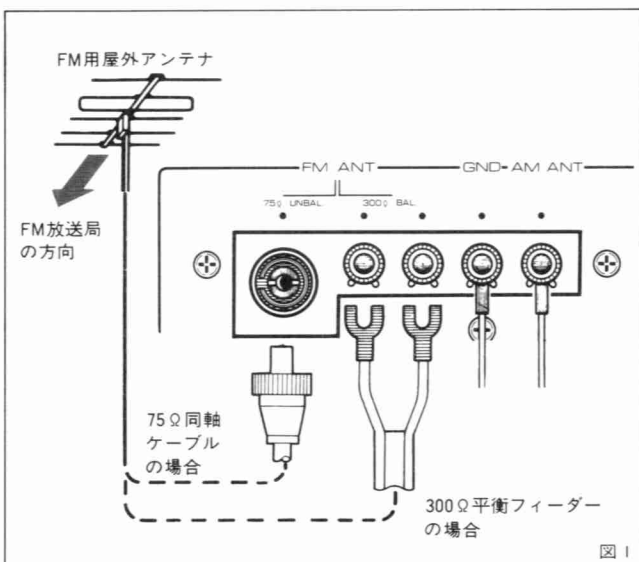


■FMアンテナの接続

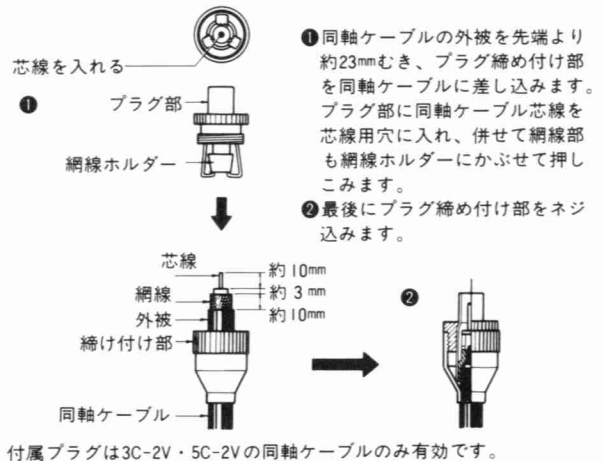
FM電波は受信する地域の状況（放送局から離れた地域や、ビルや山のかげなど）によってクリアな受信が難しい場合がありますので、ご使用になる地域の電波の強さに応じたアンテナを設置するようにしてください。本機のリヤパネルには、FMアンテナの接続端子として300Ω平衡フィーダー線用と、75Ω同軸ケーブル用の2つの端子があります。

FMアンテナとの接続には、300Ω平衡フィーダー線または75Ω同軸ケーブルのどちらでも使えますが、オートバイや自動車のイグニッションノイズなどの外部雑音が多い場合には75Ω同軸ケーブル（3C-2Vや5C-2V）をご使用ください。

なお、付属プラグの取り付け方法は図2を参照してください。



付属プラグと同軸ケーブル(3C-2V、5C-2V)の取り付け方



■FM T字型簡易アンテナの接続

付属のT字型簡易アンテナは、放送局に近い電界強度の強い地域で受信する場合に使用してください。

図3のように、アンテナのフィーダー線をリヤパネルの300Ω端子に接続し、水平部分の両端をピンと伸ばしてゆっくりと180度回転させながら、最も受信状態の良い方向を選び、壁などに固定します。

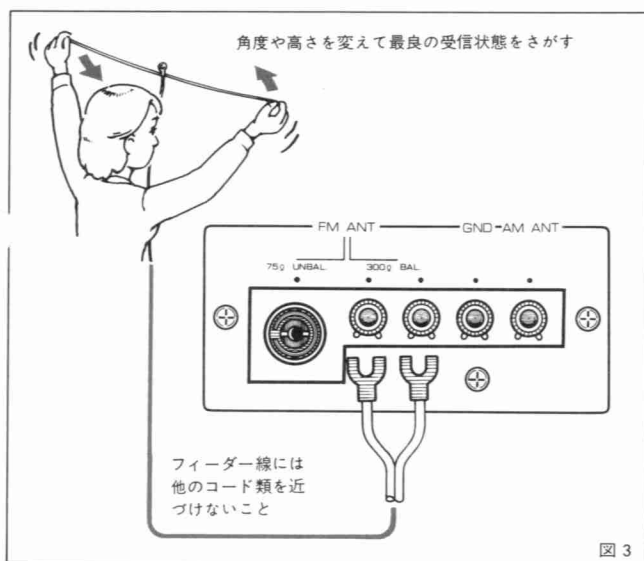


図3

2. ループアンテナの使い方

チューナーをラックや棚などに乗せて使用する場合、リヤパネルと後ろの壁との間にスペースがないときは図4のようにループアンテナを取り外し、受信状態の良い方向を決めてから壁などに掛けて使用してください。

3. AMリードアンテナ

ループアンテナを調整しても受信状態が悪いときはP3の接続図のようにAM ANT 端子に5~10mビニール被覆線を接続し、屋外に張ってください。

■FM・AMアンテナの設置について

本機はオートサーチ・チューニング(自動選局)方式を採用しています。

FMアンテナおよびAMリードアンテナを設置しても、電波の弱い放送局または遠距離の放送局を受信できない場合がありますので[電界強度FM:2μV、AM(IHF):3μV(ループアンテナにて100μV/mに相当)までの受信が可能]、受信不可能な場合には今一度アンテナのセッティング場所あるいは高さなどを確認してください。

なお、近くの放送局(強電界地域)を受信する場合、多素子のアンテナやブースター(増幅器)を用いますと、電波が強すぎて受信できない場合がありますのでご注意ください。

■ステレオアンプへの接続

本機のOUTPUT(出力)端子とステレオアンプのTUNER(チューナー入力)端子のL、Rを確認して、付属の接続コードで接続します。

■AC OUTLET(予備電源コンセント)への接続

消費電力300W以下の機器は、電源プラグを本機のAC OUTLETに接続し、本機のPOWERスイッチのON/OFFに関係なく使用することができます。

■接続上の注意事項

1. 接続コードのプラグは確実に差し込んでください。接続が不完全ですと、音が出なくなったり雑音の発生する原因になります。
 2. 接続コードを電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねたり、小さな直径でぐるぐる丸めたりしますと、不要なハムや雑音を拾ったりすることがありますのでご注意ください。
- 注) テレビや他の受信機の近くには、本機を設置しないでください。相互に悪影響をおよぼし、良い受信ができません。

■AMアンテナの接続

1. AM専用ループアンテナ

本機では、AM専用のループアンテナを付属していますので図4のようにAM ANT端子に接続し、希望のAM放送局を選局して図4のようにループアンテナを左右にまわし、受信状態が一番良くなる方向を捜し出してください。

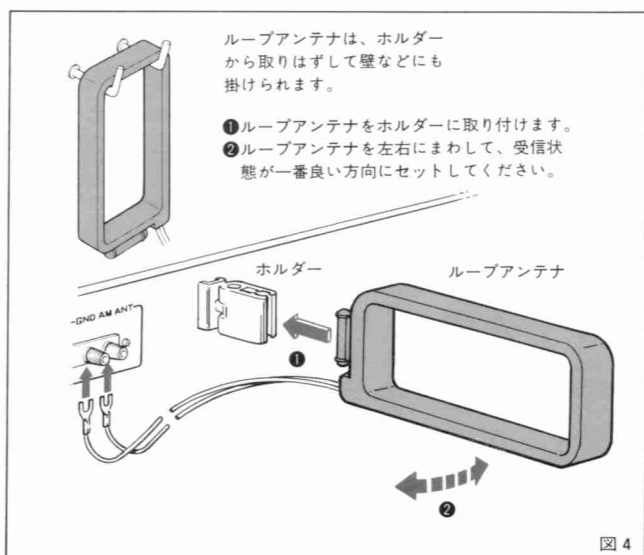
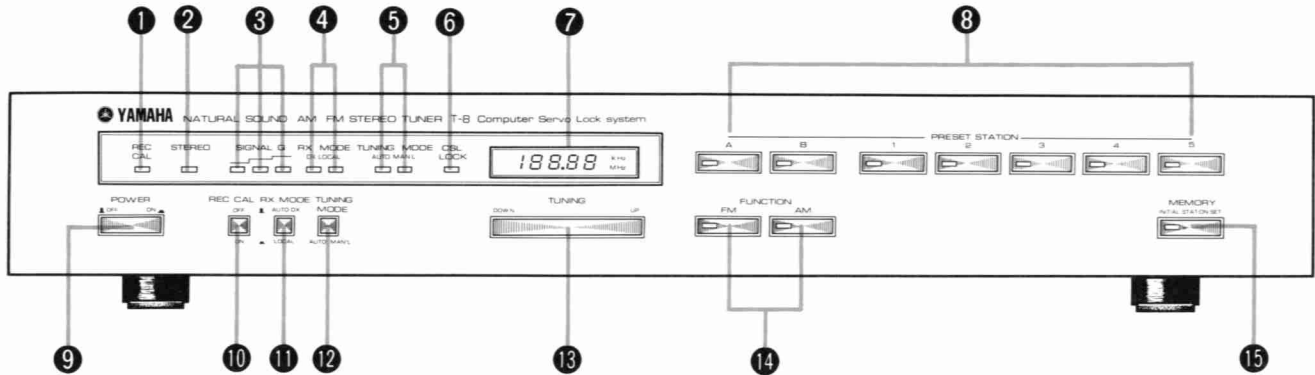


図4

各部の名称と機能

■フロントパネル



① REC CAL (REC CALインジケータ)

⑩のREC CALスイッチを押してON ■にすると、このインジケータが赤く点灯します。

※⑩のREC CALスイッチの項を参照してください。

② STEREO (FMステレオインジケータ)

FM放送がステレオ放送の場合には、自動的にこのインジケータが赤く点灯し、モノラル放送になると消えます。

※AM放送を受信しているときには点灯しません。

③ SIGNAL Q (シグナルクオリティインジケータ)

放送を選局受信する際、このインジケータが多く点灯するようにアンテナの高さや、方向を調整してください。

④ RX MODE (RXモードインジケータ)

●LOCAL……⑪のRX MODEスイッチがLOCALポジションのとき、またはAUTO DX ポジションでも電波が強く妨害のないときは、この緑のインジケータが点灯しLOCALモードで受信していることを示します。

●DX……RX MODEスイッチがAUTO DXポジションのとき遠くの放送局を受信する場合や、電波が弱くなったり妨害電波などがあると、このインジケータが点灯しDXモードで受信していることを示します。

※⑪のRX MODEスイッチの項を参照してください。

※AMでは⑪のSWで LOCAL, DXの切換えができる。

⑤ TUNING MODE (チューニングモードインジケータ)

(チューニングモードインジケータ)

⑫のTUNING MODEスイッチが、AUTOのときにはAUTOインジケータが点灯し、MAN'LのときにはMAN'Lインジケータが点灯します。

※⑫のTUNING MODEスイッチの項を参照してください。

⑥ CSL LOCK (CSL LOCKインジケータ)

コンピューターサーボロックドループ方式のインジケータでオートチューニングにて選局の際、放送を受信すると点灯します。

⑦ 周波数インジケータ

⑬のオートサーチチューニングボタンや、⑧のプリセットステーションボタンで選ばれた放送の受信周波数をデジタルで表示します。

FM放送では76.0MHz～90.0MHzを、AM放送では 525 kHz～1,605kHzの受信周波数を表示します。

⑧ PRESET STATION

(プリセット・ステーションボタン)

プリセットボタンAで5局、プリセットボタンBで5局、計10局の放送局をプリセットしておくことができます。ボタンを押しますと、ボタン左部に緑のインジケータが点灯し、プリセットされた放送局をワンタッチで選局することができます。

※プリセットのしかたはP 8をご覧ください。

⑨ POWER (電源スイッチ)


このスイッチを押してON ■にしますと電源が入り、もう一度押しますとOFF ■となり電源が切れます。

POWERスイッチをON ■にしますと、イニシャルステーションセットされている放送局が受信され、各インジケータが点灯します。

⑩ REC CAL (録音レベル設定信号出力スイッチ)

チューナーから録音するとき、録音レベルを設定する信号出力をON/OFFするスイッチです。スイッチをON ■にしますと、333Hzの信号(FMの50%変調に相当するレベル)がOUTPUT端子に出できます。

エアチェックには適切な録音レベルの設定が必要ですが、REC CAL信号を利用しますとプログラムに関係なく常に適切な録音レベルを決めることができます。録音レベルを合わせるときは、デッキのレベルメーターの指示が-6 VU~0 VUになるようにデッキの入力レベル(録音レベル)を調整してください。

※REC CAL スイッチは他の全てのスイッチより優先して動作します。またこのスイッチをON  のままで電源を切りますと信号音が多少残ります。

11 RX MODE (RXモードスイッチ)

このスイッチはFM放送受信時のIFモードを切り換え、遠距離の放送局や妨害の多い放送局の受信に効果があります。また、オートサーチチューニング時には、サーチレベルが自動的に切り換わります。

又、AM時は手動でLOCAL, DXの切り換えが可能です。

●AUTO DXポジション

FM放送の受信で電波が強く妨害のないときは、ワイドレンジのLOCALモードで受信し、電波が弱くなったり妨害電波などがあると選択度の高いDXモードに自動的に切り換わり雑音の少ない受信ができます。④のRX MODEインジケータが点灯し、受信モードを表示します。

FM放送、AM放送共、通常の実信ではこのスイッチはAUTO DXポジションにしておきます。

※LOCALモードから一度DXモードに切り換わりますと電波の状態が回復してもLOCALモードには自動復帰しません。この場合は、⑧のPRESET STATIONボタンでもう一度離調し選局し直すか、一時このスイッチをLOCALポジションにしてください。

※⑬のTUNINGボタンで選局する場合このスイッチをAUTO DXポジションにしておきますと、電波の強い放送局、弱い放送局に関係なく受信ができます。

●LOCALポジション

放送局に近く電波が十分に強く、妨害の少ない地域でご使用の場合、あるいはAM、FM共電波の弱い放送局は受信しないで強い局のみ受信する場合は、スイッチをこのポジションにしておきます。FM放送では⑧のインジケータのLOCAL側が点灯し、解像度が高く透明感のあるワイドレンジな音質で受信できます。

12 TUNING MODE

(チューニングモードスイッチ)

⑬のオートサーチ・チューニングボタンの動作をAUTO(自動)または、MAN'L(手動)に切り換えるスイッチです。

●AUTOポジション

⑤のチューニングモードインジケータのAUTO側

が点灯し、⑬のオートサーチ・チューニングボタンで自動選局することができます。

●MAN'Lポジション

⑤のチューニングモードインジケータのMAN'L側が点灯し、⑬のオートサーチ・チューニングボタンは、手動選局に切り換わります。

※⑬のTUNING(オートサーチ・チューニングボタン)の項を参照してください。

13 TUNING (チューニングボタン)

放送局を選局するボタンです。

●⑫のチューニングモードスイッチがAUTOポジションの場合

DOWNボタンを押すと⑦の周波数インジケータに表示される周波数が下がっていき放送を受信すると止まります。もう一度ボタンを押すと周波数はさらに下がり、最低周波数まで下がると最高周波数に移り同じ動作を続けます。逆に、UPボタンを押すとDOWNボタンを押したときの逆の動作をします。

●⑫のチューニングモードスイッチがMAN'Lポジションの場合

選局の際⑦の周波数インジケータが放送局の周波数となるまでチューニングボタンを押し続けます。DOWNボタンを押すと周波数インジケータに表示される周波数が下がり、UPボタンを押すと上がります。

14 FUNCTION (バンドセレクトボタン)

FM放送かAM放送を選択するボタンです。

●FMボタンを押しますとボタン左部に緑のインジケータが点灯し、⑦の周波数インジケータがMHz表示になりFM放送を受信します。

●AMボタンを押しますとボタン右部に赤のインジケータが点灯し、⑦のインジケータがkHz表示になりAM放送を受信します。

※FM放送実信中にAMに、またはAM放送実信中にFMに切り換えますと放送局のない所が受信表示されることがあります。この場合は再度⑬のTUNINGボタンまたは⑧のPRESET STATIONボタンで選局し直してください。

15 MEMORY (メモリーボタン)

このボタンを押しますと、ボタン左部に赤のインジケータが点灯します。⑧のPRESET STATIONボタンに放送局(A-5局、B-5局)の周波数をプリセットするとき、このボタンを押し、次に⑧のステーションボタンを押しメモリーさせます。

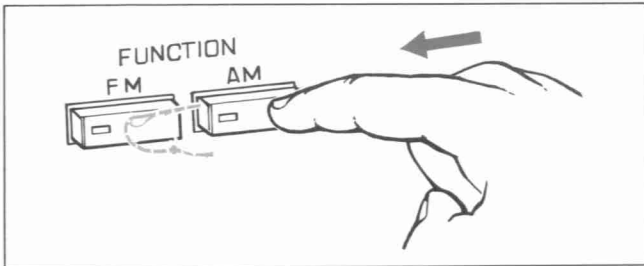
詳しくは、P 8のプリセットメモリーの手順を参照してください。

プリセットメモリーおよび放送の受信の方法

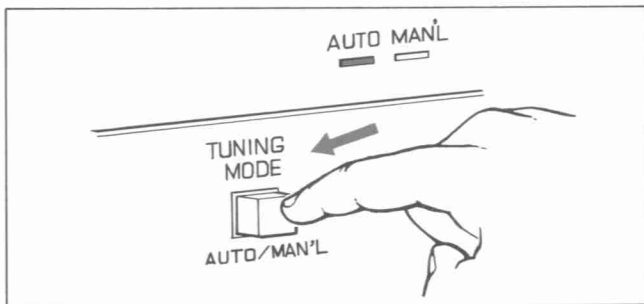
■FM/AM放送の受信

●オートサーチ選局

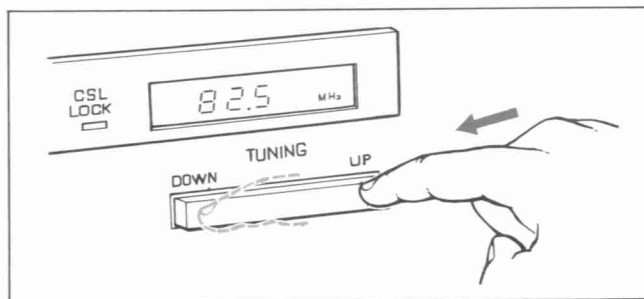
- ① FUNCTIONスイッチのAMまたはFM ボタンを押します。



- ② TUNING MODEスイッチを押して、TUNING MODEインジケータのAUTOが点灯するようにします。(電源スイッチをONした時は自動的にAUTOになります。)



- ③ TUNINGボタンのDOWNまたはUPを押します。
周波数が自動的に変化して放送局のある所で止まり放送を受信します。このとき、CSL LOCKインジケータが点灯し放送電波に周波数がロックしたことを示します。



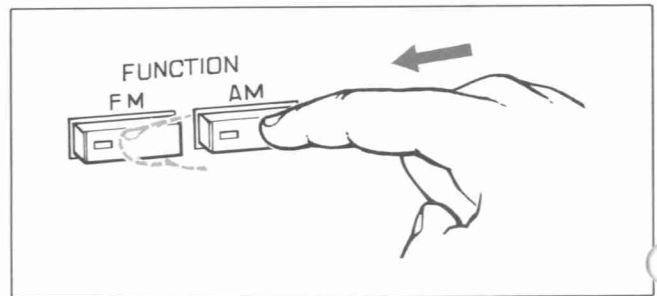
- ④ 止まった所が目的の放送でない場合には、再度TUNINGボタンのDOWNまたはUP を押して目的の放送局を選局します。

※アンテナを取り付けてない場合やビルの室内などの電波の弱い所でオートサーチ選局をした場合、いつまでも止まらないことがあります。周波数を止めるには、TUNING MODEスイッチを押してMAN'Lにしてください。

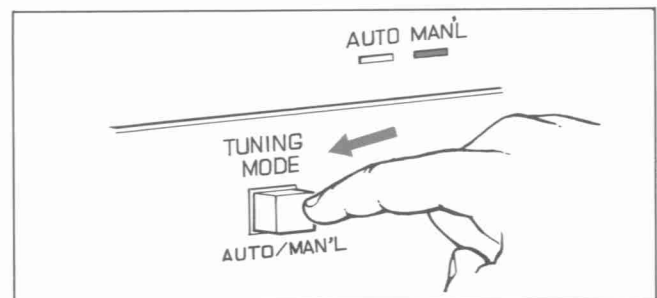
●マニュアル選局

目的の放送局の電波が弱い場合には、オートサーチ選局で受信できないときがあります。このようなときにはマニュアルで選局してください。

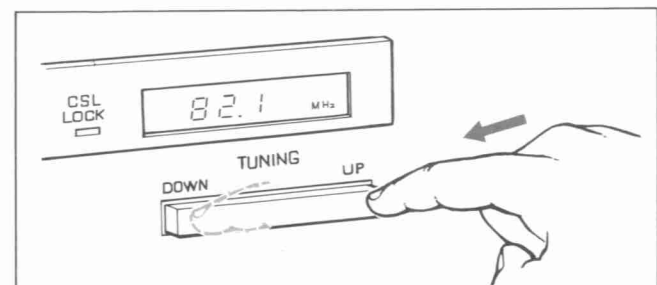
- ① FUNCTIONスイッチのAMまたはFMボタンを押します。



- ② TUNING MODEスイッチを押して、TUNING MODEインジケータのMAN'Lが点灯するようにします。



- ③ TUNINGボタンのDOWNまたはUPを押します。
続けて(約1秒以上)押し続けていると周波数が変化します。目的の放送局の少し手前で離し、TUNINGボタンを1回づつ押して周波数を合わせます。



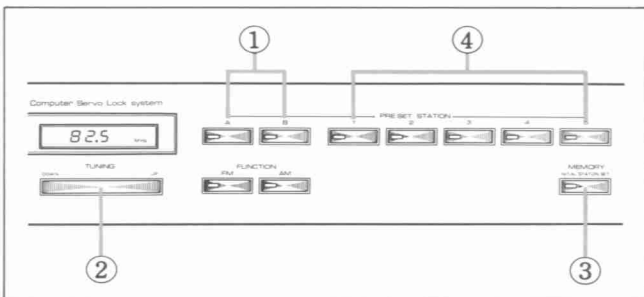
- TUNINGボタンを押し続けると
82.1……83.8……85.3……
○変化を続け、離すと止まります。
○UPを押し続けると90.0で止まります。
○DOWNを押し続けると76.0で止まります。
- 1回づつ押しと
FM 0.1MHzづつ変化します。
AM 1kHzづつ変化します。

●プリセット選局

本機はTUNING ボタンによるオートサーチ選局の他に、PRESET STATION ボタンによるプリセット選局ができます。ボタンをワンプッシュするだけで、あらかじめメモリーされた放送局を受信するというスピーディで操作性の良い選局機能です。

〈プリセットメモリーの手順〉

- ① PRESET STATION ボタンのAまたはBを押します。
- ② 受信希望局の周波数となるように、オートサーチまたはマニュアルで選局します。
- ③ MEMORY ボタンを押します。このとき、MEMORY ボタンに赤くインジケーターが約4秒間点灯します。
- ④ MEMORY ボタンのインジケーターが点灯している間に PRESET STATION ボタンの1～5のプリセットしたいボタンを押します。メモリーされるとMEMORY ボタンのインジケーターが消えます。
※メモリーを変更したいときは、メモリーするときと同じ手順で前のメモリーの上にプリセットします。前のメモリーは消えて新しくメモリーができます。

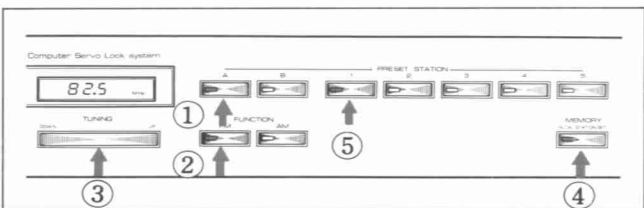


〈プリセットメモリー例〉

実際に次の3つの放送局をプリセットする方法を説明します。

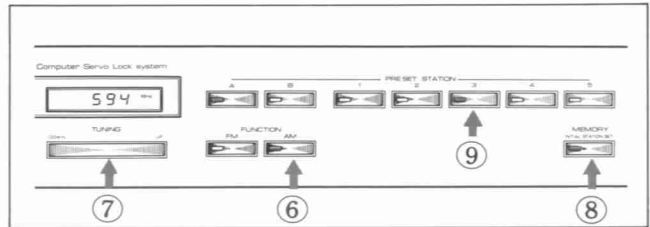
- FM NHK東京 82.5MHz → A-1
- NHK第1 (AM) 594kHz → A-3
- FM東京 80.0MHz → B-3

—FM NHK東京— A-1



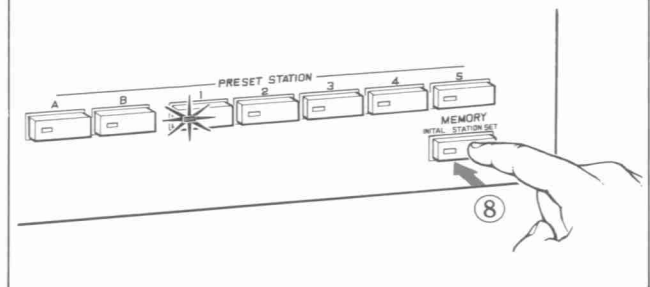
- ① PRESET STATION ボタンのAを押します。
- ② FUNCTIONボタンのFMを押します。
- ③ オートサーチまたはマニュアルでFM NHK 東京を受信します。
- ④ MEMORY ボタンを押します。
- ⑤ MEMORY ボタンのインジケーターが点灯している間に PRESET STATION ボタンの1を押します。

—NHK第1— A-3



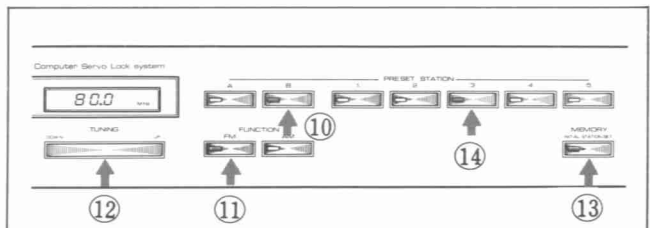
- ⑥ FUNCTIONボタンのAMを押します。
- ⑦ オートサーチまたはマニュアルでNHK第1を受信します。
- ⑧ MEMORY ボタンを押します。

※このとき、ラストメモリーを示すため PRESET STATIONボタンの1のインジケーターが点滅し、メモリーされていることが確認できます。(ラストメモリーフラッシング機能)



- ⑨ MEMORYボタンのインジケーターが点灯している間に PRESET STATION ボタンの3を押します。

—FM東京— B-3

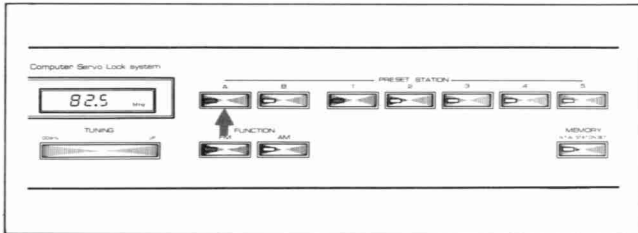


- ⑩ PRESET STATION ボタンのBを押します。
※このとき、受信周波数は PRESET STATION B-1にメモリーされている周波数になります。
- ⑪ FUNCTIONボタンのFMを押します。
- ⑫ オートサーチまたはマニュアルでFM東京を受信します。
- ⑬ MEMORY ボタンを押します。
※このとき、PRESET STATION ボタンの3のインジケーターが点滅します。
- ⑭ MEMORYボタンのインジケーターが点灯している間に PRESET STATION ボタンの3を押します。
※A-3メモリーとは関係なくB-3にFM東京がメモリーされます。

＜プリセット選局の方法＞

PRESET STATION ボタンを押すだけで、FUNCTIONが自動的に切り換わりFM/AMの区別なく選局することができます。プリセットメモリー例の3局を受信する方法を例にとって説明します。

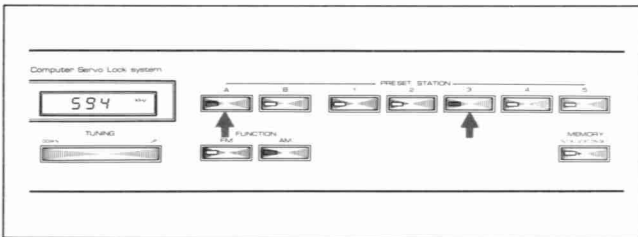
—FM NHK東京— A-1



● PRESET STATION ボタン A を押すだけで受信します。

※ PRESET STATION ボタン A または B を押すと 2～5 のボタンに優先して 1 が呼び出されます。(よく聞く放送局を A-1.B-1 にプリセットしておくとう便利です。)

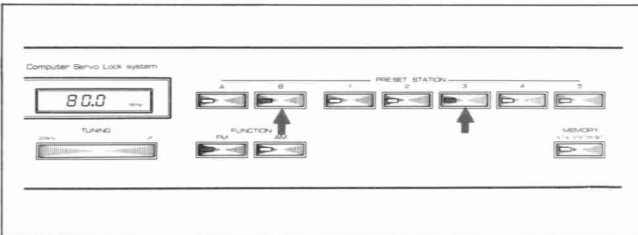
—NHK 第1— A-3



● PRESET STATION ボタン A を押してから 3 を押します。

※このとき、1 度 FM NHK東京が選局されます。

—FM 東京— B-3



● PRESET STATION ボタン B を押してから 3 を押します。

※このとき、1 度 B-1 にメモリーされている局が選局されます。

＜イニシャルステーションセット＞

本機では電源をONしたとき、常に同じ放送局(イニシャルステーション)が呼び出されます。この放送局は、FM、AMにかかわらず任意に設定・変更することができます。セットの方法

① オート・マニュアル選局、プリセット選局のいずれかで希望の放送局を受信します。

② MEMORY ボタン (= INITIAL STATION SET ボタン) をインジケータが点滅するまで(押し始めから約 5 秒)押し続けます。

また変更するには、①②を再び繰り返せば変更することができます。

この機能は、タイマーとの併用によって毎日同じ時刻に音楽を聞いたり(目覚し放送など)、留守録音をするのに便利で確実です。即ち 1 度セットすると、再びセットし直さない限り、プリセット選局、オートマニュアル選局、メモリー動作などを行なっても変わることなく、常に電源をONしたときには、その放送局が呼び出されることとなります。ですから一番多く聴く放送局をイニシャルステーションにセットしておくとう便利で、留守録音などの必要に応じて変更すれば、本機をより一層便利にご使用いただくことができます。

＜プリセットメモリーについて＞

本機では、バックアップ電源を一切必要としない新開発のメモリーICを使用しているため、プリセットメモリーの内容は次のセットをするまで半永久的に保持されます。停電、長期間の留守などでメモリー内容の消えることはありません。

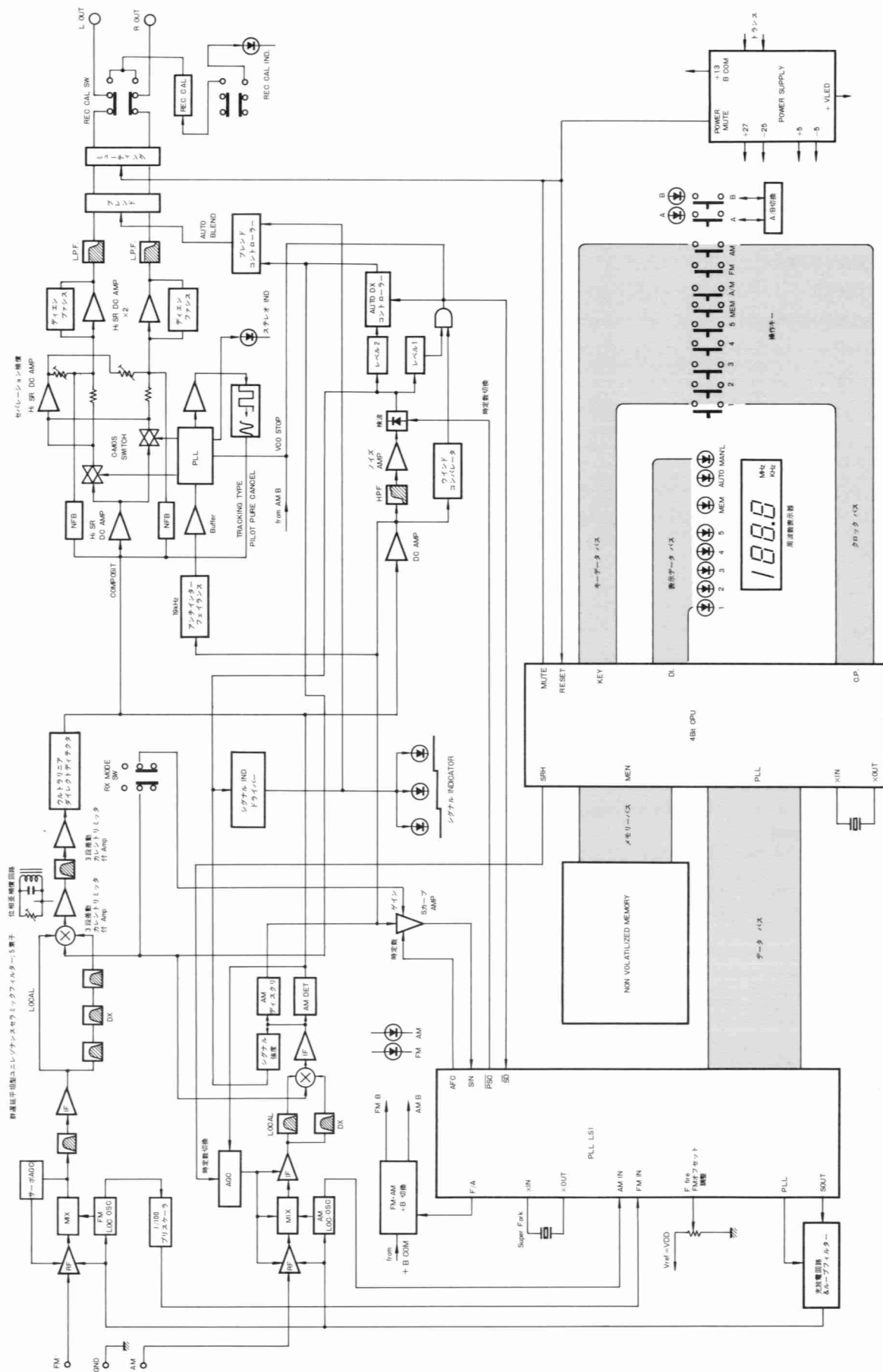
■メモリーカードの記入例

付属のメモリーカードは切り取って下の記入例を参考にしてお使いください。

T-8 AM/FM STATION MEMORY CARD

	PRESET STATION				
	1	2	3	4	5
A	82.5 MHz NHK東京	1242 KHz ニッポン放送	59.4 KHz NHK第1	80.7 MHz NHK千葉	81.9 MHz NHK横浜
B	142.2 KHz ラジオ関東	95.4 KHz TBS	80.0 MHz FM東京	85.1 MHz NHK浦和	113.4 KHz 文化放送

ブロックダイアグラム



参考仕様

■FMチューナーセクション

受信周波数	76~90MHz
50dB S/N感度	
MONO	3 μ V (14.7dBf)
STEREO	32 μ V (35.3dBf)
実用感度 (IHF MONO, 84MHz)	
75 Ω	0.9 μ V (10.3dBf)
300 Ω	1.8 μ V (10.3dBf)
イメージ妨害比 (84MHz)	80dB
IF妨害比 (84MHz)	100dB
スプリアス妨害比 (84MHz)	100dB
AM抑圧比 (IHF)	65dB
実効選択度 (IHF)	
LOCAL	25dB
DX	85dB
キャプチャレシオ (IHF)	
LOCAL	1.2dB
DX	2.5dB
SN比 (IHF)	
MONO	90dB
STEREO	84dB
全高調波歪率	
MONO 100Hz	0.02% (LOCAL)、0.05% (DX)
1 kHz	0.03% (LOCAL)、0.3% (DX)
6 kHz	0.05% (LOCAL)、0.8% (DX)
STEREO 100Hz	0.04% (LOCAL)、0.6% (DX)
1 kHz	0.04% (LOCAL)、0.6% (DX)
6 kHz	0.06% (LOCAL)、1.2% (DX)
IM (混変調)歪率 (IHF)	
MONO	0.03% (LOCAL)、0.3% (DX)
STEREO	0.04% (LOCAL)、0.6% (DX)
ステレオセパレーション	
50Hz	60dB (LOCAL)、28dB (DX)
1 kHz	60dB (LOCAL)、28dB (DX)
10kHz	50dB (LOCAL)、25dB (DX)
周波数特性	50Hz~10kHz \pm 0.3dB
	30Hz~15kHz \pm 0.3dB
サブキャリア抑圧比	65dB
AUTO DX動作レベル	40 μ V (37.3dB)
■AMチューナーセクション	
受信周波数	518~1,615kHz
実用感度 (IHF)	10 μ V
選択度 (1,000kHz \pm 10kHz)	17dB (LOCAL)、27dB (DX)
SN比	50dB
イメージ妨害比 (1,000kHz)	45dB
スプリアス妨害比 (1,000kHz)	50dB
全高調波歪率	0.3%

■オーディオセクション

出力レベル/インピーダンス	
FM (100%変調、1 kHz)	0.5V/2.2k Ω
AM (30%変調、1 kHz)	0.15V/2.2k Ω
REC CAL信号	0.25V/4.7k Ω
	(333Hz、FM時の50%変調に相当)

■付属機構

- AM、FMランダム10局プリセット機構
(不揮発性メモリーIC使用)
- オートサーチ・チューニング機構 (UP/DOWN)
- CSL・インジケータ
- RX MODEスイッチ (IF選択、AUTO DX/LOCAL オートチューニングレベル切換)
- AUTO DX連動オートブレンド機構
- REC CAL機構
- イニシャルプリセット機構
- ラストメモリーチャンネルフラッシング機構

■総合

使用半導体 IC	16
トランジスタ	74
FET	2
ダイオード	25
バラクタダイオード	6
LED	20
7セグメントLED周波数表示器	1
ACアウトレット	300W・MAX
定格電源電圧・周波数	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	9W
外形寸法 (W×H×D)	435×72×320.5mm
重量	4kg
付属品	
FM同軸ケーブル用プラグ	1
FMT字型簡易アンテナ	1
出力コード	1
メモリーカード	4
	(本書に付属)

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがございます。




■メモリーカード

破線にそって切り取り、本文 P9 [メモリーカード記入例] のように周波数と放送局名を記入しご使用ください。

T-8 AM/FM STATION MEMORY CARD

PRESET STATION

1 2 3 4 5




A		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz
B		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz

T-8 AM/FM STATION MEMORY CARD

PRESET STATION

1 2 3 4 5




A		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz
B		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz

T-8 AM/FM STATION MEMORY CARD

PRESET STATION

1 2 3 4 5




A		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz
B		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz

T-8 AM/FM STATION MEMORY CARD

PRESET STATION

1 2 3 4 5



A		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz
B		KHz		KHz		KHz		KHz		KHz
		MHz		MHz		MHz		MHz		MHz

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430・浜松市中沢町10-1 TEL・0534(65)1111	名古屋支店	〒460・名古屋市中区錦1-18-28 TEL・052(201)5141
東京支店	〒104・東京都中央区銀座7-9-18/ パールビル内 TEL・03(572)3111	北陸支店	〒921・金沢市泉本町7-7 TEL・0762(43)6111
銀座店	〒104・東京都中央区銀座7-9-14 TEL・03(572)3131	九州支店	〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL・092(472)2151
横浜支店	〒231・横浜市中区本町6-61-1 TEL・045(212)3111	小倉店	〒802・北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL・093(531)4331
横浜店	〒220・横浜西区南幸2-15-13 TEL・045(311)1201	北海道支店	〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ ヤマハセンター TEL・011(512)6111
千葉支店	〒280・千葉市千葉港2-1/ 千葉中央コミュニティセンター内 TEL・0472(47)6611	仙台支店	〒983・仙台市原町南目薬師堂北2-1 TEL・0222(95)6111
関東支店	〒370・高崎市歌川町8番地/ 高崎センター内 TEL・0273(27)3366	広島支店	〒730・広島市紙屋町1-1-18 TEL・0822(48)4511
大阪支店	〒564・吹田市新芦屋下1-16 TEL・06(877)5151	浜松支店	〒430・浜松市田町32 TEL・0534(54)4115
心斎橋店	〒542・大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL・06(211)8331	浜松店	〒430・浜松市鍛冶町122 TEL・0534(54)4111
神戸支店	〒651・神戸市中央区浜辺通り6丁目1の36 TEL・078(232)1111		
神戸店	〒650・神戸市中央区元町通2-188 TEL・078(321)1191		
四国支店	〒760・高松市西宝町2丁目6-44 TEL・0878(33)2233		

故障と思われるときには

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りの日本楽器ステレオサービス係宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

	症 状	原 因	処 置
FM 放 送 受 信 時 の ト ラ ブ ル	“バリバリ、ガリガリ”という雑音が時々入る（電波の弱い地域ほど著しい）	モーターバイクや自動車などのイグニッションノイズ	FM専用アンテナをできるだけ高く、道路から離れた位置に建て、同軸ケーブルを使用してください
		サーモスタットつき電気器具の雑音	雑音を発生している電気器具に雑音防止器を取り付けてみてください
	ステレオ放送になると雑音が多くなり聞きづらい	FMステレオ放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力弱い場合にかかる	アンテナの接続を確認してください
			FM専用アンテナを建ててください
			FM専用アンテナを多素子のものにしてみてください
	オートサーチ・チューニング(自動選局)ができない		RX MODEスイッチをAUTO DXポジションにしてみてください
	ステレオ放送受信時、FMステレオインジケータがチカチカ点滅し雑音も多い	アンテナ入力の不足	受信地域の電界強度に合ったアンテナを建ててください
同調が完全にとれていない		もう一度同調をとり直すか、メモリーし直してください	
FM専用アンテナを建てているが音が歪み、クリアな受信ができない	マルチパス妨害をおこしている	アンテナを指向性の良いものに交換するか、マルチパスを受けにくいところにアンテナを設置してください	
ステレオ・テスト放送で、左側の音が右側にもれる	クロストーク(漏話)現象で、わずかに出ている場合は正常	右側へのもれが左側の音に比べ、極くわずかであれば正常で、故障ではありません	
プリセット・チューニングができない	プリセットされていない	もう一度メモリーしてください	
AM 放 送 受 信 時 の ト ラ ブ ル	感度が充分にない	電波が弱い、あるいはアンテナの接続が確実でない	AMループアンテナを取りつけ直してください
	オートサーチ・チューニング(自動選局)ができない		AMループアンテナの方向を変えてみてください
			RX MODEスイッチをAUTO DXポジションにしてみてください
			屋外にAM用アンテナを張ってみてください
	“ジー”、“ザー”、“ガリガリ”などの連続雑音が出る	空電や雷による雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタットつきの電気器具による雑音	AM用屋外アンテナを張り、アースを完全にすると減少しますが、完全に除去するのは困難です
“ビー”、“チー”、“シーン”などの音が入る（特に夜に多い）	隣接局の電波が受信時の放送周波数と干渉を起こしている	隣接局の干渉はやむを得ません	
	テレビなどをそばで使用している	テレビセットから離して使用してみます	

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買い上げ店、または日本楽器ステレオサービス係へお願い致します。

■ステレオの保証は、保証書によりご購入日から満1カ年です。尚、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。（日本国内のみ有効です）

■保証期間の1カ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービスネットワーク（ステレオサービス係）宛お問い合わせください。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”とお思いになる点がございましたら、まず本文中の「故障と思われるときには」（前ページ）をお読みになってください。意外と故障でない場合があるものです。（ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障でない場合でも点検代と出張費を頂戴させていただく場合もございますのでご注意ください。）

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、お住まい、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。（セットの具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客様にご迷惑をおかけしないですみます。）

■日本楽器ステレオサービス係への持ち込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買い上げ店、または最寄りの日本楽器ステレオサービス係へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。（右欄ステレオサービス係または日本楽器ステレオサービス係の所在地と電話番号をご参照ください。）

■ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。（あらかじめ補修部品などを手配し、早く、確実にサービスにお伺いできます。）※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■サービスのお約束

昼間ご不在のお客様や留守がちのお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂きたく存じます。万一、お約束した日時にご都合が悪い時には、できるだけ早くご連絡くださるようお願い致します。（出張料の二重負担が防止でき、お徳です。）

■サービスネットワーク(ステレオサービス係)

北海道事業所・〒064	札幌市中央区南十条西1丁目(ヤマハセンター内) TEL (011)512-6111
仙台事業所・〒980	仙台市1番町2丁目6-5 TEL (0222)23-3101
東京事業所・〒101	東京都千代田区神田駿河台3-4(龍名館ビル4F) TEL (03)255-2241
浜松営業所・〒432	浜松市東伊場2丁目14-1(ヤマハエレクトーン・ステレオサービスセンター内) TEL (0534)56-9211
名古屋事業所・〒460	名古屋市中区栄1-7-33(サカエセンタービル5F) TEL (052)201-1551
北陸出張所・〒921	金沢市泉本町7-7(ヤマハ金沢センター) TEL (0762)43-6343
大阪事業所・〒550	大阪市西区江戸堀1-9-1(肥後橋センタービル6F) TEL (06)445-6421
岡山出張所・〒700	岡山市本町6-30(フジビル8F) TEL (0862)32-3802
四国出張所・〒760	高松市西宝町2丁目6-44(高松センター) TEL (0878)33-2233
広島営業所・〒731-01	広島市安佐南区祇園町西原2205-3 TEL (08287)4-3787
九州事業所・〒812	福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092)472-2151

